

幾何概論 I のレポート課題 (4月14日) の解答例とコメント

レポート課題

課題 1 $[0, 1]$ 区間上の連続関数全体の集合 V について

$$\|f\|_1 = \int_0^1 |f(x)| dx, \quad \|f\|_2 = \sqrt{\int_0^1 |f(x)|^2 dx}, \quad \|f\|_\infty = \max_{0 \leq x \leq 1} |f(x)|$$

のそれぞれについて三角不等式が成り立つことを示せ. すなわち次が成り立つことを示せ.

$$\|f + g\|_1 \leq \|f\|_1 + \|g\|_1, \quad \|f + g\|_\infty \leq \|f\|_\infty + \|g\|_\infty$$

【解答例】

$$\|f + g\|_1 = \int_0^1 |f(x) + g(x)| dx \leq \int_0^1 (|f(x)| + |g(x)|) dx = \|f\|_1 + \|g\|_1$$

$$\|f + g\|_\infty = \max_{0 \leq x \leq 1} |f(x) + g(x)| \leq \max_{0 \leq x \leq 1} (|f(x)| + |g(x)|) \leq \max_{0 \leq x \leq 1} |f(x)| + \max_{0 \leq x \leq 1} |g(x)| = \|f\|_\infty + \|g\|_\infty$$

課題 2 上のノルムについて $\|f\|_1 \leq \|f\|_2 \leq \|f\|_\infty$ を示せ.

【解答例】 $g = |f|$ と $h = 1$ についてコーシー・シュワルツの不等式 $|(g, h)| \leq \|g\|_2 \|h\|_2$ を適用する.

$$(g, h) = \int_0^1 g(x)h(x) dx = \int_0^1 |f(x)| dx = \|f\|_1$$

$$\|g\|_2 = \sqrt{\int_0^1 (g(x))^2 dx} = \sqrt{\int_0^1 (f(x))^2 dx} = \|f\|_2 \quad \|h\|_2 = \sqrt{\int_0^1 1 dx} = 1$$

より $\|f\|_1 \leq \|f\|_2$ を得る.

$\|f\|_\infty = \max_{0 \leq x \leq 1} |f(x)| = M$ とおく. $|f(x)| \leq M$ なので

$$\|f\|_2 = \sqrt{\int_0^1 |f(x)|^2 dx} \leq \sqrt{\int_0^1 M^2 dx} = M = \|f\|_\infty$$

【コメント】 コーシー・シュワルツの不等式をどう使うのかあいまいな解答が目立つ. ここに掲げた解答例と自分の解答を比較してほしい.

課題 3 $\mathbb{R} \times \mathbb{R}$ で定義された次の関数が \mathbb{R} の距離になるか否かを考察せよ.

$$(1) d(x, y) = |x^3 - y^3| \quad (2) d(x, y) = |x^4 - y^4|$$

【解答例】 (1)(2) とも $d(x, y) = d(y, x)$ と $d(x, y) \geq 0$ は自明だ. 三角不等式も

$$|x^k - y^k| + |y^k - z^k| \geq |x^k - z^k|$$

より成り立つ. 問題は $d(x, y) = 0$ が $x = y$ の場合に限るかということである.

(1) では $d(x, y) = |x^3 - y^3| = 0$ から $x = y$ が出るので距離である. しかし (2) では $d(x, y) = |x^4 - y^4| = 0$ からは $x = \pm y$ しか出てこない. 実際 $d(1, -1) = 0$ となるので距離ではない.

【コメント】 \mathbb{R} の距離だから x, y は実数である. 複素数で考えている人がいたが注意せよ.